

令和4年度第三者評価 改善状況報告書

令和5年 5月16日

施設名	港区立たかはま保育園	施設所管課	芝浦港南支所管理課
所在地	港区港南4-3-7	指定管理者	株式会社日本保育サービス

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和5年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和5年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
コロナ禍でも実施可能な当番活動を工夫し、給食提供時の献立紹介を子どもに委ねることで食育活動への更なる充実が期待される		各クラスが栽培活動を実施する。食育活動としては調理と連携して食材を見る、触れるのみの活動を行った。	5歳児クラスは当番活動を再開し、6月からバイキングの活動を開始する予定である。また、食育活動の充実に向けてクッキング活動の取り組みを再開したいと計画を立てている。	このような状況下で安全かつ子どもたちの興味をそそるような工夫をし、見る、触れるのみの活動により保護者には安心を、子どもたちには食に興味を持つような活動を実施しています。コロナ下降の5月以降は状況からバイキング等、更に食に興味がわくイベントを計画。今後も安全性を確認していきます。
本部作成のマニュアルに加えて園でも独自に手順書を作成しているが、今年度はさらに職員の気づきを反映した改訂版作成に取り組んでいる		園独自の業務マニュアル作成にむけて職員全体に業務改善をあげてもらって検討を行う。	出してもった意見からクラスリーダーを中心に話し合いの場を設定する。その中で早番と遅番のマニュアルを優先的に作成し、できあがったマニュアルを5月末に試験的に実施する。最終的な内容ができ次第、会議等で全体に周知して取り組む予定になっている。	本部ではわからない現場での改善点を職員全体で問題点をあぶりだし、改善方法を検討、検証、実施をクラスリーダーが中心になり計画。現在は検証の段階ですが、今後の発展に期待します。
区の策定する緊急時に対する行動指針に従って、園独自の対応策を職員全員で話し合い、BCP計画に結び付けていくことを期待する		港区の業務継続計画をホームページよりプリントアウトし、職員で読み合わせを行う。その後、職員で話し合い、園としてどのようにしたら良いか意見を出し合う。	園長、主任、全体リーダーが中心となり、園の業務継続計画を6月末を目指して策定する。	緊急時にどのように行動するか、行動指針に則ってしっかり身につけ職員全体に浸透させる計画で進んでいます。万が一の際には、落ち着いた行動が実践できるよう今後も指導していきます。